

ガラパゴス人間

毎日遅くまで真っ黒になりながら外で遊んでいた子供の頃、コンピュータやスマートフォンができるなど思いもしなかった。今は、自分の家においてインターネットで本も読めれば、買い物もできるようになった。時速 500km のリニアモーターカーが走り、宇宙旅行も夢ではなくなった。科学界では iPS 細胞ができ、平均寿命は 100 歳を超えるかもしれない。こんな時代に飽き足らず、もちろん科学は進歩を続けることであろう。その一方で、書物を読む若者は激減し、むかし聞いたこともない「ストレス」なるものが、心身症をはじめ多くの現代病を生んだ。若者は 1 人でつぶやき、友達とはラインで話す。相手の目をみながら話すこともなくなってしまふかもしれない。プロポーズもデジタルで行うようになるのだろうか。

子供は仲間と土にまみれ、学生は図書館で調べ物をし、研究者は酒を飲みながら討論し、激論し一喜一憂する。読書の秋などという言葉が懐かしい。そんな時代に戻ることはないだろう。

今回、いまだにガラパゴス携帯をこよなく愛し、電話とメール機能しか使ったことのない還暦を迎えた私が、文章と写真を用いてツイッターを試みた。140 文字という制約の中で、自分の思いを伝え、現在の社会に「もう沢山だ」という意味を踏まえて、つぶやいてみた。